

平成 27 年 9 月 29 日  
環 境 省民間競争入札実施事業  
環境保全普及推進事業「エコライフ・フェア 2015 実施業務」の実施状況について

## 1. 事業概要

## (1) 事業概要

エコライフ・フェア 2015 開催に係る実施計画作成業務等、フェア開催業務等

## (2) 契約期間

平成 27 年 3 月 2 日から平成 27 年 8 月 31 日まで

## (3) 民間事業者

株式会社 JTB コミュニケーションズ

## (4) 事業者決定の経緯

「エコライフ・フェア 2015 実施業務民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、平成 27 年 1 月 20 日に実施した入札説明会において、8 者の参加があった。

提案書を提出した者は 3 者であり、いずれも評価基準を満たしていた。

そして、平成 27 年 2 月 5 日に開札を実施し、上記 3 者の入札額が共に予定価格の制限の範囲内であったことから、この 3 者について提案書及び入札額に基づく総合評価（加算方式、満点 300 点（価格点 100 点、技術点 200 点））を行い、上記（3）の者が落札者となった。

## 2. 確保すべき質の達成状況

本業務における確保すべき質の達成状況は次のとおり。

測定指標	評価
民間事業者は、フェア開催業務において策定された実施計画、作業スケジュールに沿って業務を確実にすること	適切に実施された。（策定された実施計画、作業スケジュールに沿って業務が実施され、かつ大きな混乱、問題等がなかった。）
来場者数：65,000 名程度	開催日両日共に天候に恵まれ、目標を

	大幅に達成できた。 (来場者数約 116,000 名 6月6日(土) 46,783 名 7日(日) 69,245 名)
来場者アンケート調査：満足度 80%以上 (満足度とは、別紙 3 の設問 8 の①～②の評価を占める割合とする。)	満足度 80%を確保した。 ①良かった : 48.6% ②まあまあ良かった : 31.4% ③普通 : 14.5% ④あまり良くなかった : 0.9% ⑤良くなかった : 0.4% 回答無し : 4.2%
実施計画において企画した程度の出展者を集めること	適切に実施された。 (昨年度程度の出展者数を集めたものとなっていた。  平成 26 年度出展者数 : 53 平成 27 年度出展者数 : 49 ※環境省企画出展を除く)
実施計画において企画した程度の広報活動(ポスター配布・掲出数, HP の随時更新等)を実施すること	適切に実施された。 (提案された媒体への広報活動が実施された。)
出展料の管理は適切に行うこと(出展料設定等)	適切に実施された。 (出展料について前年度の決算及び今年度の出展者数を勘案し、環境省・事業者と協議のうえ設定した。その上で、出展に係る会計を別会計とし、適切に管理された。)
イベントが中断等なく開催すること	適切に実施された。 (中断等なく開催された。)

### 3. 民間事業者の創意工夫の発揮状況(業務企画内容の実現について)

#### (1) 創意工夫の発揮状況

##### 1) 全体スケジュール関係

イベント開催まで 3 ヶ月という短いスケジュールにもかかわらず、様々なイベント開催実績を活かし、期間内で完了するスケジュール設定をし、計画に比

べ大幅に遅れることもなく、実行された。

## 2) 出展関係

イベント開催まで3ヶ月という短いスケジュールにもかかわらず、開催に支障がない限界まで出展募集期間を設定し、昨年度同程度の出展者を集め、実施した。また、ベロタクシーや移動水族館などの新規出展者の開拓を行ったことも、過去最高の来場者数につながったと考えている。

## 3) 広報・広告関係

民間事業者の過去開催イベント開催の知見を活かし、HP、ポスター、チラシ、ソーシャルネットワークサービス(twitter、Facebook)、新聞、ラジオといった様々な媒体、様々な団体への広報活動を実施した。

## 4) 運営関係

会場設営において、これまでの同会場で実施した知見を活かし、関係者との調整や環境に配慮した会場構成など効率的かつ速やかに実施した。

## (2) 評価

エコライフ・フェアでは、訴求するテーマが毎年異なり、そのテーマに沿ったイベント実施を行っているため、民間競争入札導入の前後で民間事業者の創意工夫の発揮状況の変化を単純比較することは困難であるが、当該事業実施にあたり、有機栽培の野菜・加工品を販売するエコマルシェを民間事業者から提案され、これを取り入れた。新鮮な野菜の販売は、比較的来場者の少ない早い時間帯において、集客効果があったのではないかと考えている。

また、人通りが少ないスペースに、移動水族館を出展することにより、来場者の導線を会場の奥まで導くと同時に、会場のスペースを最大限活用することができた。そうした工夫により、イベントの来場者は昨年度を大きく上回るなど、民間競争入札の導入により円滑な業務の遂行に支障がなかったものと考えられる。

## 4. 実施経費の状況 (1) 対象公共サービスの実施に要した経費

契約額 (税込み) : 35,831,160 円

## (2) 評価

民間競争入札導入前においては、単年度主義及び経済性・合理性の観点からイベント前年度中に実施する準備業務及びイベント当該年度に実施する実施業務をまとめた複数年度にかかるイベント準備実施業務の企画提案を事業者に求め、その中で最も優れた者と準備業務実施契約を締結した。その上で、その準備業務の実施状況を検査し、問題が無く実施できている場合に限り、随意契約により実施業務実施の

契約を締結していた。

民間競争入札導入後は、国庫債務負担行為が認められたことにより、複数年度にわたり、準備業務及び実施業務を単一契約として締結し、民間事業者による準備期間を長く確保できるようにした。

実施経費について、本業務の実施に要した経費は35,831,160円であり、民間競争入札導入前の従来の実施に要した経費(平成24年開催分)35,499,735円と比べ、331,425円(0.9%)と予算執行額が増えているが、これは、消費税率が変更になったためであり、消費税を除き経費を比較すると632,270円(1.9%)の削減効果が認められた。

(参考) 民間競争入札導入前後の経費の比較(税込)

契約額 契約名	民間競争入札 導入前経費(a)	民間競争入札導 入後経費(b)	従来経費との 差額(b-a)
エコライフ・ フェア 実施業務(A)	33,499,735円 (平成24年4月 11日～8月31日)	35,831,160円 (平成27年3月2 日～8月31日)	2,331,425円
エコライフ・ フェア 準備業務(B)	2,000,000円 (平成23年3月5 日～3月28日)	(「準備業務」に かかる経費も上記 「実施業務」に含 まれる。)	—
合計(A+B)	35,499,735円	35,831,160円	331,425円 (削減率▲0.9%)

民間競争入札導入前後の経費の比較(税抜)

契約額 契約名	民間競争入札 導入前経費(a)	民間競争入札導 入後経費(b)	従来経費との 差額(b-a)
エコライフ・ フェア 実施業務(A)	31,904,510円 (平成24年4月 11日～8月31日)	33,177,000円 (平成27年3月2 日～8月31日)	1,272,490円
エコライフ・ フェア 準備業務(B)	1,904,760円 (平成23年3月5 日～3月28日)	(「準備業務」に かかる経費も上記 「実施業務」に含 まれる。)	—
合計(A+B)	33,809,270円	33,177,000円	▲632,270円 (削減率1.9%)

## 5. 競争入札の状況及び評価

### (1) 入札までの経緯について

平成 27 年 1 月 9 日入札公告、平成 27 年 2 月 5 日入札の日程で調達を行った。入札過程においては、今期業の落札者である株式会社 JTB コミュニケーションズを含めた 8 社から、入札参加の意思があるものと思料される説明会への出席を受けていたが、提案書の提出及び入札への参加は 3 者であった。

### (2) 評価

3 者の応札があったことで、競争性が保たれ、実施経費の節減に効果があり、本事業を実施するために必要な要件を兼ね備えた民間事業者を確保することができた。

## 6. 総評

民間競争入札を導入以降、来場者満足度や出展者数について高い水準を保っており、導入前と同等以上のサービス提供がされ、また、経費削減効果も認められている。

以上のとおり、本事業については、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」に定める市場化テストを終了する基準を満たしており、良好な実施結果が得られていることから、今後の事業に当たっては、市場化テストを終了し、環境省の責任において行うこととしたい。

なお、市場化テスト終了後も、これまで官民競争入札等監理委員会における審議を通じて厳しくチェックされてきた公共サービスの質、実施期間、入札参加資格、入札手続き及び情報開示に関する事項を踏まえた上で、引き続き公共サービス改革法の趣旨に基づき、環境省自ら公共サービスの質の向上、コストの削減等を図る努力をしてまいりたい。